

症例検討会（第4回）のご案内

令和元年 11月 28日 18:30～

場所：熊本医療センター研修センター

症例 1

出題者 荒尾市民病院 山崎 芳満 技師

患者：70代 女性

現病歴：右乳房 B 領域尾側に 18mm の腫瘤を指摘され、経時的に増大傾向にて穿刺吸引細胞診を施行した。

既往歴：2 年前に胃体部癌にて腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行した。

<解答>

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 嚢胞（泡沫細胞の集簇） | ⑤ 粘液癌（乳腺原発） |
| ② 顆粒細胞腫 | ⑥ 粘液癌（胃癌の転移） |
| ③ 浸潤性乳管癌（硬性型） | ⑦ アポクリン癌 |
| ④ 浸潤性小葉癌 | |

症例 2

出題者 熊本労災病院 川野 陽子 技師

患者：50歳代 女性

現病歴：他施設の乳がん検診マンモグラフィー検査にて左乳腺良性石灰化所見あり。軽度の所見と判定（不均一高濃度乳腺）。約 1 か月後、当院乳腺外来受診。

画像所見：左 AC 領域に 40×28×17 mm 大の低エコー腫瘤あり。

不整形、境界不明瞭、内部不均一、血流（+）、2mm の石灰化（+）前方境界線の断裂なし。浸潤性乳管癌が疑われた。

検体：左乳腺 AC 領域 穿刺吸引。

<解答>

- | | |
|----------------|----------|
| ① 浸潤性乳管癌 腺管形成型 | ⑤ アポクリン癌 |
| ② 浸潤性乳管癌 充実型 | |
| ③ 浸潤性乳管癌 硬性型 | |
| ④ 浸潤性小葉癌 | |

なお、今回の解答者は以下の方々（敬称略）ですので、必ず出席してください。

事情があって欠席の方は、代わりの人をお願いしてください。

	解答者 A	解答者 B
症例 1	杉谷 拓海	山田 智子
症例 2	小藤理紗子	多比良朋希

